

		基礎情報処理Ⅱ	1		◎															
		品質管理	2	○	◎			△	△	○										
		確率と統計Ⅰ	2	○	◎	○						○								
		確率と統計Ⅱ	2	○	◎	○						○								
		淀川と人間	1	△	◎			△	△	○										
		淀川と環境	1	△	○			△	△	◎										
		サイエンス探求演習(PBL)	1		○		△	◎												
		宇宙・地球・生命一探求演習(PBL)	1	△	△			◎	◎	○					○	△		◎		
数理科学 と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	◎	○						○								
		ベクトル解析	2	○	◎	○							○							
		線形代数学Ⅲ	2	○	◎	○							○							
		線形代数学Ⅳ	2	○	◎	○							○							
		複素解析Ⅰ	2	○	◎	○							○							
		複素解析Ⅱ	2	○	◎	○							○							
		応用数学Ⅰ	2		○	◎							○							
		応用数学Ⅱ	2		○	◎							○							
		実践化学	2	△	◎						○									
		地球システムと人間	2		◎						◎	○		△						
		環境生物学	2		◎	○					◎	◎	◎	◎						
		人間発達と人権	2		○					◎										
		教育学Ⅰ	2		◎															
		教育学Ⅱ	2		◎															
		現代代数学	※4																	
		数学特論	※4																	
		現代幾何学	※4																	
		現代解析学	※4																	
		教職物理学	※4																	
		化学実験	※2																	
地学Ⅰ	※2																			
地学Ⅱ	※2																			
地学実験	※2																			
生物学Ⅰ	※2																			
生物学Ⅱ	※2																			
生物学実験	※2																			
その他連携 科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン	1		◎															
		キャリア形成支援	1		◎															
		インターンシップ	2			◎	○													
		グローバルテクノロジー論a	1							◎										
		グローバルテクノロジー論b	1							◎										
		OIT概論	1		◎															
分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP1)	DP2)	DP3)	DP4)	DP5)	DP6)	DPA)	DPB)	DPC)	DPD)	DPE)	DPF)	DPG)	DPH)	DPI)		
基幹科目	生命工学の基礎となる人体の構造・機能、生体分子とその代謝、無機化学と有機化学に関する化学構造や化合物の性質と合成反応、電気・電子回路、微生物の分類・特徴・培養、生命工学分野で用いる英語表現、生命工学に関わる先端技術と歴史について説明することができる。食品の機能・加工・製造・衛生、化学分析の技術、遺伝子に基づく工学的利用や技術について説明できる。実験の計画・遂行、結果の説明と考察、チームワークを生かした計画的な作業、口述発表ができる。	生物実験	●2	○	○	◎	○	○				○	○	○		○	○	◎	○	
		化学実験	●2	○	○	◎	○	○					○	○	○		○	○	◎	○
		医工学実験	●2	○	○	◎	○	○					○	○	○		○	○	◎	○
		生命工学PBLⅠ	●2	○		◎	○	○			○			○	○		○		○	◎
		生命工学PBLⅡ	●2	○		◎	○	○			○			○	○		○		○	◎
		生命工学ゼミナール	●2	○		◎	○	○			○			○	○		○	◎	○	○
		生命工学研究ゼミナールⅠ	●2	○		◎	○	○			○			○	○		◎	○	○	○
		生命工学研究ゼミナールⅡ	●2	○		◎	○	○			○			○	○		◎	○	○	○
		キャリアデベロップメント	●2			◎				○	○	◎			○	○	○			
		工学英語	●2	○	○	◎	○				○						◎			
		生命数学演習	●1	○		◎				○			○	◎	○					
		生命物理演習	●1	○		◎				○			○	◎	○					
		人体生理学Ⅰ	■2	○		◎				○			○	◎	○					
		人体生理学Ⅱ	■2	○		◎				○			○	◎	○					
		生化学Ⅰ	■2	○		◎				○			○	◎	○					
		生化学Ⅱ	■2	○		◎				○			○	◎	○					
		電気工学基礎	■2	○		◎				○			○	◎	○					
		微生物学	■2	○		◎				○			○	◎	○					
		無機化学	■2	○		◎				○			○	◎	○					
		有機化学Ⅰ	■2	○		◎				○			○	◎	○					
		有機化学Ⅱ	■2	○		◎				○			○	◎	○					
		遺伝子工学	2	○		◎				○			○	◎	○					
		公衆衛生学	2	○		◎				○			◎							
		食品衛生学	2	○		◎				○	○	○			○	◎				○
		食品化学工学	2	○		◎				○			○	◎	○					
		食品加工学	2	○		◎				○			○	◎	○					
先端技術論	2	○	○	◎				○	○	○	○	◎	○	◎						
バイオエレクトロニクス	2	○		◎				○			○	◎	○							
バイオメカニクス	2	○		◎				○			○	◎	○							
分析化学	2	○		◎				○			○	◎	○							
医工学系	生体の物理現象や物性、システム制御、電子回路、バイオセンサーについて説明できる。高分子の構造・物性、医用材料、人工臓器について説明できる。	医工学概論	2	○		◎				○	◎	○								
		高分子工学	2	○		◎				○		○	◎							
		人工臓器	2	○		◎				○		○	◎							
		生体システム工学	2	○		◎				○		○	◎							
		生体物性工学	2	○		◎				○		○	◎							
		生命計測工学	2	○		◎				○		○	◎							
		バイオマテリアル	2	○		◎				○		○	◎							
生命科学系	生命現象や機能と薬物治療、食品の機能について説明できる。生物データの解析、タンパク質・細胞・組織に基づく工学的利用や技術について説明できる。	生命科学概論	2	○		◎						◎	○	○						
		医薬概論	2	○		◎							◎	○	○					
		免疫学	2	○		◎							○	◎	○					
		機能性食品学	2	○		◎							○	◎	○					
		細胞・組織工学	2	○		◎							○	◎	○					
		生物情報工学	2	○		◎							○	◎	○					
		生物物理学	2	○		◎							○	◎	○					
卒業研究	4	○		◎	○	○				○			○	○	○	◎	○	○		

(注) ●:必修科目、■:選択必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目)
(注)「卒業研究」はカリキュラム・マトリクスでのみ4単位として取り扱う。

		知的財産法概論	2	○	◎			△	△	△									
		基礎情報処理 I	1		◎														
		基礎情報処理 II	1		◎														
		品質管理	2	○	◎			△	△	○									
		確率と統計 I	2	○	◎	○						○							
		確率と統計 II	2	○	◎	○						○							
		淀川と人間	1	△	◎			△	△	○									
		淀川と環境	1	△	○			△	△	◎									
		サイエンス探求演習(PBL)	1		○		△	◎											
		宇宙・地球・生命一探求演習(PBL)	1	△	△		◎	◎	○						○	△		◎	
数理科学と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	◎	○						○							
		ベクトル解析	2	○	◎	○							○						
		線形代数学Ⅲ	2	○	◎	○							○						
		線形代数学Ⅳ	2	○	◎	○							○						
		複素解析Ⅰ	2	○	◎	○							○						
		複素解析Ⅱ	2	○	◎	○							○						
		応用数学Ⅰ	2		○	◎							○						
		応用数学Ⅱ	2		○	◎							○						
		実践化学	2	△	◎					○									
		地球システムと人間	2		◎					◎	○		△						
		環境生物学	2		◎	○				◎	◎	◎							
		人間発達と人権	2		○				◎										
		教育学Ⅰ	2		◎														
		教育学Ⅱ	2		◎														
		現代代数学	※4																
		数学特論	※4																
		現代幾何学	※4																
		現代解析学	※4																
		教職物理学	※4																
		化学実験	※2																
地学Ⅰ	※2																		
地学Ⅱ	※2																		
地学実験	※2																		
生物学Ⅰ	※2																		
生物学Ⅱ	※2																		
生物学実験	※2																		
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン(2016~)	1	◎				○											
		キャリアデザインⅠ(～2015)	1	◎				○											
		キャリア形成支援(2016~)	1	◎				○											
		キャリアデザインⅡ(～2015)	1	◎				○											
		インターンシップ	2			◎	○												
		グローバルテクノロジー論a	1						◎										
		グローバルテクノロジー論b	1						◎										
		OIT概論	1	◎															
分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP1)	DP2)	DP3)	DP4)	DP5)	DP6)	DPA)	DPB)	DPC)	DPD)	DPE)	DPF)	DPG)	DPH)	DPI)	
基幹科目	生命工学の基礎となる人体の構造・機能、生体分子とその代謝、無機化学と有機化学に関する化学構造や化合物の性質と合成反応、電気・電子回路、微生物の分類・特徴・培養、生命工学分野で用いる英語表現、生命工学に関わる先端技術と歴史について説明することができる。食品の機能・加工・製造・衛生、化学分析の技術、遺伝子に基づく工学的利用や技術について説明できる。実験の計画・遂行、結果の説明と考察、チームワークを生かした計画的な作業、口述発表ができる。	生物実験	●2	○	○	◎	○	○			○	○	○		○	○	◎	○	
		化学実験	●2	○	○	◎	○	○			○	○	○		○	○	◎	○	
		医工学実験	●2	○	○	◎	○	○			○	○	○		○	○	◎	○	
		基礎ゼミナール	●2	○		◎	○	○			○		○	○	○	○		○	◎
		生命工学PBLⅠ	●2	○		◎	○	○			○		○	○	○	○		○	◎
		生命工学PBLⅡ	●2	○		◎	○	○			○		○	○	○	○		○	◎
		生命工学ゼミナール	●2	○		◎	○	○			○		○	○	○	◎	○	○	
		生命工学研究ゼミナールⅠ	●2	○		◎	○	○			○		○	○	◎	○	○	○	
		生命工学研究ゼミナールⅡ	●2	○		◎	○	○			○		○	○	◎	○	○	○	
		医用情報処理	●2	○		◎		○					○	○	◎				
		キャリアデベロップメント	●2		○	◎				○	○	◎		○	○	○	○		
		工学英語	●2	○	○	◎	○				○					◎			
		生命数学演習	●1	○		◎		○				○	◎	○			○		
		生命物理演習	●1	○		◎		○				○	◎	○			○		
		人体生理学Ⅰ	■2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		人体生理学Ⅱ	■2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		生化学Ⅰ	■2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		生化学Ⅱ	■2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		電気工学基礎	■2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		微生物学	■2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		無機化学	■2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		有機化学Ⅰ	■2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		有機化学Ⅱ	■2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		遺伝子工学	2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		技術史	2	○	○	◎					○	○	◎						
		公衆衛生学	2	○		◎					○		◎						
		細胞生物学	2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		食品衛生学	2	○		◎		○	○	○	○	○		◎			○		
		食品化学	2	○		◎		○				○	◎	○			○		
		食品化学工学	2	○		◎		○				○	◎	○			○		
食品加工学	2	○		◎		○				○	◎	○			○				
生産技術	2	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○			
先端技術論	2	○	○	◎		○	○	○	○	○	○	◎			○				
バイオエレクトロニクス	2	○		◎		○				○	◎	○			○				
バイオメカニクス	2	○		◎		○				○	◎	○			○				
分析化学	2	○		◎		○				○	◎	○			○				
医工学系	生体の物理現象や物性、システム制御、電子回路、バイオセンサーについて説明できる。高分子の構造・物性、医用材料、人工臓器について説明できる。	医工学概論	2	○		◎			○	◎	○								
		高分子工学	2	○		◎		○			○	◎	○			○			
		人工臓器	2	○		◎		○			○	◎	○			○			
		生体システム工学	2	○		◎		○			○	◎	○			○			
		生体物性工学	2	○		◎		○			○	◎	○			○			
		生命計測工学	2	○		◎		○			○	◎	○			○			
		バイオマテリアル	2	○		◎		○			○	◎	○			○			

		バイオレオロジー	2	○		◎		○			○	◎	○			○		
生命科学系	生命現象や機能と薬物治療、食品の機能について説明できる。 生物データの解析、タンパク質・細胞・組織に基づく工学的利用や技術について説明できる。	医薬概論	2	○		◎		○			◎	○	○			○		
		応用微生物学	2	○		◎		○			○	○	◎			○		
		機能性食品学	2	○		◎		○			○	○	◎			○		
		細胞・組織工学	2	○		◎		○			○	○	◎			○		
		生物情報工学	2	○		◎		○			○	○	◎			○		
		生物物理学	2	○		◎		○			○	○	◎			○		
		タンパク質工学	2	○	○	◎		○	○		○	○	◎	○		○	○	
		バイオイメーjing	2	○		◎				○	○	◎			○			
卒業研究		卒業研究	●4	○		◎	○	○	○			○	○	○	◎	○	○	

(注)イ. 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

ロ. 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目

ハ. 単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目